

豊かな自然とちいさな観光の里

(組織名) 大塚地域資源保全協議会 (市町村) 秩父市

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	電気柵	農道
ha	11.51ha	1.6km	km	km	1.0km	1.8km

2 活動組織の構成員

荒川日野大塚地区、荒川日野町会、荒川中央町会等

構成人数 20人（うち農家 16人）

3 地域の様子と取組内容

本地域は荒川地区のほぼ中央に位置し、道の駅あらかわ周辺のいちご狩りやぶどう、りんごやいも掘り等の観光農園やそば畠の他、水資源にも恵まれハウス園芸等の生産も行っている。今後も農業振興を図るためには、農用地や農業用施設および鳥獣害防止用広域電気防護柵等の適切な保全・維持管理が必要であり、より効率的な取り組みを行うため、令和3年度から組織を設立し活動を開始した。

農業者を含めた住民の高齢化や遊休農地化が進む中、地域で一体的な保全管理活動を行い、農村環境の維持保全に取り組んでいる。

また、行政と連携し広域電気防護柵の整備を行い、適切な保守管理活動を行うことで、サル・シカ等による農作物被害の減少に努めている。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
農用地、農道、水路の点検	点検に基づき活動計画を策定	農用地周辺や農道の草刈り、水路の清掃や泥上げ、鳥獣害防護柵の保守管理



広域電気柵の保守管理



水路の清掃



地区の住民も参加

5 取組の効果及び今後の展望等

組織の設立により、計画的な維持活動を実施する体制が整った。また、大塚地域に農地を所有する農業者だけでなく、大塚地域の住民も共に活動を実施することで、農地および農業用施設を地域資源と捉え、適正な維持管理に対する意識がより高まっている。

また、当地域は観光の拠点となる道の駅あらかわや多種にわたる観光農園、宿泊施設等が立地していることから、今後も地域住民と一体となり、魅力ある農業および農村地域の保全を図っていく。